

Take Off

第 1 2 号

平成26年11月4日(火)

三郷市立北中学校 進路通信

平成27年度の生徒募集人員が発表になりました

埼玉県教育委員会から平成27年度の埼玉県公立高等学校の募集人員が発表になりました。26年度と比較すると人員増が9校、人員減が16校です。北中3年生が志望している高校も関係していません。9月に進路希望調査をおこないましたが、その志望校から北中生が志望している高等学校の増減を見てみましょう。

高等学校名	増減	
越谷西高等学校(普通科)	40人増	320人→360人
大宮東高等学校(普通科)	40人増	240人→280人
蕨高等学校(普通科)	40人増	320人→360人
川口東高等学校(普通科)	40人減	320人→280人
春日部高等学校(普通科)	40人減	400人→360人
浦和西高等学校(普通科)	40人減	400人→360人
市立川口総合高等学校(総合学科)	40人減	240人→200人

このことは、やはり合否に大きく関わることはさけられないと思います。募集人員が増えたから入りやすくなったなどということはありません。考えることは皆同じですからその学校に去年より希望者が増えるということも起こるかもしれません。すると受験倍率は変わらないなんていうこともあるのです。気を抜くことなく毎日の勉強を進めていってほしいと思います。

◎11月1日に10月現在の埼玉県立高等学校の進路希望状況が発表になりました



市内3校は1倍を切ってしまっていますが、もちろん最終的には1倍を越えていくと思います。ですから安心することではありません。また、北中生が希望している高校で1.5倍を越えているところを見ると浦和1.8倍、浦和西2.29倍、川口北2.03倍、越ヶ谷2.52倍、越谷北1.66倍、越谷西1.68倍、越谷南1.81倍、草加1.58倍、草加東1.61倍、八潮南は1.86倍、市立川口2.22倍、越谷総合技術(情報技術)2.25倍となっています。あまりよい言い方ではありませんが、最も倍率の高い越ヶ谷高校を例に取ると、484人不合格となるのです。不安にさせてしまったかもしれません。しかし、不安はみな同じです。不安を取り除くには力をつけるしかありません。さあ決意を固めるときです。

◎11月11日(火)は第3回埼葛地区学力検査です

11日までにできることを考え、計画的に学習を進めましょう。ポイントは、過去のテストでできていなかったものをやり直すことです。あとは、毎日の授業に120%の集中力で「今日の授業を聞き逃さない」ことです。そしてわからなかったことは**質問する**です。わからないまますぎるのが一番やってはいけないことです。

